

科目・コース（ユニット）名：病理学総論Ⅰ
英語名称：Pathology (Pathologic basis 1)

【担当責任者】橋本 優子 山田 匠希 美田 敏宏

【連絡先】内線：2182、e-mail：“病理病態診断学講座” <pathol-1@fmu.ac.jp>

【開講年次】2年、【学期】後期【必修／選択】必須、

【授業形態】講義／実習

【概要】病理学総論では各臓器・組織の差を越えて共通にみられる病変の成因、成立機序、病態、転帰、病理形態像などを概括的に把握し、理解する。

【学習目標】

（炎症と創傷治癒、感染症・寄生虫学、細胞傷害・変性と細胞死、代謝障害、遺伝）

- ☐ 炎症の概念、病態ならびに細胞・組織の形態学的変化を理解する。
- ☐ 各種微生物の基本的性状、病原性とそれによって生じる病態、疾患を理解する。
- ☐ 寄生体と宿主が織りなす寄生現象（感染経路、宿主の生体防御、臓器特異性）と疾病との関わり（疫学、診断、治療、予防など）を理解し、説明できる。
- ☐ 変性と細胞死の原因や機序、ならびに細胞・組織の形態学的変化を理解する。
- ☐ 糖質、タンパク質、脂質などの代謝障害によって生じる多様な疾患について理解する。
- ☐ 免疫異常による疾患について病態生理、発生機序や細胞・組織の形態学的変化を理解する。
- ☐ 臓器移植後の拒絶反応とGVHDの病態生理、発生機序や細胞・組織の形態学的変化を理解する。
- ☐ 生まれた時から確認出来るような病気または病的状態の素因や原因を把握し、診断、治療さらに予防学を学ぶ。
- ☐ ゲノム・染色体・遺伝子の多様性と疾患との関連を理解する。

【教科書】【参考書】

教科書は、特に指定しないが、参考までに下記を挙げる。

（教科書）

- ・カラーイラストで学ぶ 集中講義 病理学 改訂2版、MEDICAL VIEW
- ・標準病理学（北川昌伸 監修／仁木利郎、小田義直 編）第7版、医学書院、2023/3/27
- ・解明病理学（青笹克之 編）第4版、医歯薬出版、2021/11
- ・カラールービン病理学－臨床医学への基盤－改訂版（E. ルービン他 編著／鈴木利光、中村栄男、深山正久、山川光徳、吉野正 監訳）西村書店、2017/11
- ・Robbins & Kumar Basic Pathology, 11th edition (2023)
- ・組織病理アトラス（深山正久、小田義直、坂元亨宇、松野吉宏、森永正二郎、森谷卓也編）第6版、文光堂、2015/10
- ・カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断（赤木忠厚監修／松原修、真鍋俊明ほか編）第7版、医歯薬出版、2020/12

- ・組織病理カラーアトラス（坂本穆彦、北川昌伸、菅野純著）第3版、医学書院、2021/5
- ・図説人体寄生虫学（吉田幸雄、有蘭直樹著）第10版、南山堂、2021/3

【成績評価方法】

総論講義、実習が全て終了後、上記の行動目標が達成されているかどうかについて、筆記および実習試験を実施して、総合的に判定します。試験は実習が全て終了していないと受験できません。

【学習上の注意事項】

1. 講義内容を理解し把握するためには、生物学、分子生物学、分子遺伝学、免疫学、解剖学、組織学、生理学、生化学、薬理学、微生物学など幅広い知識が必要です。平素から講義だけでなく生命科学に関する知識を得ることおよび主体的思考に努めることが重要と考えます。
2. 講義の項目に関して不足分を自学、自習にて学び、質問があれば積極的に行うことが必要です。
3. 講義、実習時にその都度必要な資料を配布します。実習では組織像のスケッチを主とするレポートの提出を義務づけます。
4. 広い範囲にわたる病理学を理解するには膨大な時間が必要です。まずは薄い教科書でよいので通読し、病気の成り立ち、転帰、診断や治療など医療のかかわり方について、病理学の概略を理解し、そこに各分野の知識を有機的に付加していくことが肝要と考えます。

【垂直的統合授業の実施内容】

- ①生化学から発展させた代謝異常
- ②免疫学からの発展させた免疫・移植
- ③微生物学からの発展させた感染症の病理
- ④分子遺伝学、発生学を発展させた奇形・先天異常

【水平的統合授業の実施内容】

炎症、代謝に関与する各臨床医学系領域の授業実施

臓器移植における各移植臓器に関与する内科、外科領域の授業実施

奇形、先天障害における小児科領域の授業実施 等

臓器別 Unit の病理（血液学、婦人科、小児科、頭頸部、骨・軟部、消化器、乳腺）

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2026/09/24	木	2	(講) 細胞傷害	橋本 優子	
2	2026/09/24	木	3	(講) 細胞傷害	橋本 優子	
3	2026/10/06	火	4	(講) 環境と栄養障害による疾患	橋本 優子	
4	2026/10/06	火	5	(実) 細胞傷害	橋本 優子	
5	2026/10/06	火	6	(実) 細胞傷害	橋本 優子	
6	2026/10/20	火	4	(講) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
7	2026/10/20	火	5	(講) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
8	2026/10/20	火	6	(講) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
9	2026/11/02	月	4	(実) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
10	2026/11/02	月	5	(実) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
11	2026/11/02	月	6	(実) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
12	2026/11/05	木	2	(講) 発生障害と遺伝子疾患	橋本 優子	
13	2026/11/05	木	3	(講) 発生障害と遺伝子疾患	橋本 優子	
14	2026/11/10	火	4	(講) 代謝障害	橋本 優子	
15	2026/11/10	火	5	(講) 代謝障害	橋本 優子	
16	2026/11/13	金	4	(実) 代謝障害	橋本 優子	
17	2026/11/13	金	5	(実) 代謝障害	橋本 優子	
18	2026/11/13	金	6	(実) 代謝障害	橋本 優子	
19	2026/11/19	木	2	(講) 感染症	山田 匠希	
20	2026/11/19	木	3	(講) 感染症	山田 匠希	
21	2026/11/27	金	4	(実) 感染症	山田 匠希	
22	2026/11/27	金	5	(実) 感染症	山田 匠希	
23	2026/11/27	金	6	(実) 感染症	山田 匠希	
24	2026/11/30	月	2	中間試験	橋本 優子	
25	2026/11/30	月	3	中間試験	橋本 優子	
26	2026/12/03	木	2	(講) 免疫	橋本 優子	
27	2026/12/03	木	3	(講) 免疫	橋本 優子	
28	2026/12/10	木	2	(実) 免疫	橋本 優子	
29	2026/12/10	木	3	(実) 免疫	橋本 優子	
30	2027/01/18	月	4	(講) 寄生虫	美田 敏宏	
31	2027/01/18	月	5	(講) 寄生虫	美田 敏宏	
32	2027/01/18	月	6	(講) 寄生虫	美田 敏宏	
33	2027/01/19	火	4	(講) 寄生虫	美田 敏宏	
34	2027/01/19	火	5	(講) 寄生虫	美田 敏宏	

35	2027/01/19	火	6	(講) 寄生虫	美田 敏宏	
36	2027/01/20	水	4	特別講義	美田 敏宏	
37	2027/01/20	水	5	特別講義	美田 敏宏	
38	2027/01/20	水	6	特別講義	美田 敏宏	
39	2027/01/25	月	2	(講) 移植	橋本 優子	
40	2027/01/25	月	3	(実) 移植	橋本 優子	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
橋本 優子	教授	病理病態診断学講座
山田 匠希	助教	病理病態診断学講座
美田 敏宏	教授	順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座

【医師として実務経験のある教員による授業科目】該当する